



株式会社MANIX  
代表取締役社長 松田 茂樹

エコロジー&エコノミーな住空間のご提案

「住まいるフェスタ2009」

## 住まいるフェスタで再確認 ここまで進んだ 住設機器のエコ機能

当社のお得意様である工務店やリフォーム店、水道工事店と手を携え、増改築需要を掘り起こし、受注に結び付けよう開催している「住まいるフェスタ」も、今回で12回目を迎えます。毎回、多数のエンドユーザーの皆様にご来場いただき、各メーカーの住宅設備機器を一堂に見比べられ、ファミリーや友人みんなでお楽しみ、様々なイベントなども行い好評を頂戴しています。

今年は、59社の主催店様に参加していただき、9月5日(土)・6日(日)、姫路みなとドームで、「エコロジー&エコノミーな住空間のご提案」をテーマに開催いたしました。これからの住まいづくりのお役立てとなればと思います。

今回のテーマは「エコロジー&エコノミーな住空間のご提案」。各メーカー「イチオシ」のエコ製品を、フェア実行委員長・山田和紀がご紹介いたします。



住まいるフェスタ  
実行委員長  
山田 和紀

### ■ 水も電気も、トイレで賢く節約

INAX

超節水型のエコトイレ「サティス」について、INAXの正岡誠也さんにお話を伺いました。1989～2001年発売の旧来型便器が大洗浄に1回13リットルの水を使っていたのに対して、サティスは1回わずか5リットル程度で、実に67%の節水を実現しています。その節水効果は、4人家族の場合、2日間でお風呂1杯分以上! 水道料金に換算すると、なんと年間約13,500円もお得になります。

サティスは水だけでなく、電気も無駄に使いません。Wタイプは、使わないときは暖房便座をOFFにし、人を感知すると即座に便座を温める「省エネ暖房便座」と、使うときだけ洗浄水を温める「省エネ温水シャワー」を採用しています。どちらも保温による電気使用がゼロになるので、



旧来型便器に比べるとその差は歴然です。節電効果は約77%、年間電気料金も約6,000円の節約になり、その上、CO<sub>2</sub>排出量も約75%削減と地球温暖化防止にも大きく貢献できるのが魅力です。

また、洗浄もふたの開閉もフルオートで、手を伸ばしてハンドル操作をしたり、腰をかかめてふたを開け閉めする必要がないなど、小さなお子さんや高齢の方にもやさしい仕様になっています。さらに、サティスはお手入れが容易なのも特長で、ボタンひとつで機能部がリフトアップし便座と機能部の隙間が簡単に掃除でき、トイレはいつもピカピカ。もちろん防汚・抗菌機能も万全で、水あか汚れやキズ汚れ、細菌汚れも全て解消できるので掃除もラクラクです。

タンクレスでスペースを取らず、タンク型トイレを設置していたスペースと同じ広さで手洗いも設置できるので、サティスは、まさにリフォームにうってつけのエコトイレです。

### ■ 太陽熱・排熱を給湯に有効活用

ノーリツ

ノーリツの吉岡慶哉さんに、太陽光利用給湯システム「スカイピアECOハイブリッド」の特長や魅力を伺いました。このシステムは、太陽熱温水器とガス風呂給湯器を一体化したハイブリッド設計によって、太陽熱を最大限に利用しながらガス風呂給湯器の便利さをプラスしたもので、集熱機であるソーラーパネルを屋根に設置し、太陽熱を熱源機に送ることで貯湯タンクの湯を温めるという仕組みになっています。水温は、一般的に冬の快晴日、入浴水温より約25～30℃プラス。夏の快晴日なら、約30～35℃以上もプラスされたお湯が得られます。貯湯量は140リットルとたっぷりあり、ガス給湯器を一体化しているので、どんどんお湯を使っても湯切れの心配がありません。

気になる省エネ効果は、従来型の給湯器と比べて約40%も燃料消費量を減らすことができ、従来の給湯器で浴槽263杯分のお湯を溜めると同程度のCO<sub>2</sub>削減につながります。現在集熱量、節約量、ソーラー利用率、CO<sub>2</sub>削減量など、さまざまな省エネ情報がリモコンに表示されるので、ひと目で省エネ度が確認できます。使用したガス、お湯の目安使用量や目安使用料金も表示されるので、家計の管理にも大いに役立ちそうです。



ノーリツがもうひとつ力を入れているのが、「家庭用ecoジョーズ」。これまでの給湯器は燃焼ガスを排熱として大気中に捨ててしまいましたが、ecoジョーズは約200℃もある排熱を二次熱交換器によって50℃になるまで再利用することで、熱効率95%を達成しています。燃焼時の排熱を効率よく使い、ガスの使用量を減らすためCO<sub>2</sub>の排出量も低減。従来のガス給湯器と比べ16%、年間170～231kgのCO<sub>2</sub>排出量をカットしています。当然、ガス使用料金も減らすことができ、給湯・風呂・床暖房に使用した場合、平均家庭で年間約16,000円も節約することができます。

### ■ リサイクルを考慮した同一素材仕様

クリナップ

クリナップのオススメ商品について月野一朝さんにお伺いしました。ブースで話題を呼んでいるのが、業界初の「レンジフードフィルター自動洗浄機能」です。油やホコリ汚れでベタベタのレンジフード掃除は、手間がかかり、手も汚れ、主婦の嫌いな家事NO.1ですが、その悩みが解消されるとあって、来場者も高い関心を寄せています。

フィルターの洗浄から乾燥まで約10分と、労力だけでなく、時間も節約できます。さらに注目したいのが、節水&エコ効果。手洗いの場合、約28リットルもの水が必要で、油を含んだ汚水もそのまま流されてしまうため、下水に大きな負荷を与えます。自動洗浄の場合、使用水は約0.65リットルで、なんと27リットル以上も節水できるというわけです。汚れた水はタンクに集められますから、紙などに給水させて燃えるゴミとして出せば、さらに下水負荷を削減することもできます。しかも、手洗いには水だけでなく洗剤やスポンジなどの掃除道具も必要で、



ランニングコストを考えればその差は非常に大きいでしょう。

クリナップでは環境に配慮し、リサイクルまで考えた製品づくりを行っています。そのひとつが、オール18-8ステンレス素材のシステムキッチン。天板やシンク、引き出し、コンテナはもちろん、キャビネット扉や内部壁面・底材など、キッチン本体にもすべてステンレスを使用しています。ステンレスはリサイクル効率がよく、80%以上が回収され再利用されるエコロジー素材です。その効果をさらに高めるため、オールステンレスで分別を簡単にし、扉やフロアコンテナも解体しやすいシンプルな構造になっています。

ステンレスは美しいだけでなく、耐水性や耐熱性、耐久性が高く、手入れがやすく清潔で、ゴキブリが巣くわないなど衛生面でも優れています。エコロジーで、ユーザーに嬉しいシステムキッチンの登場です。

### ■ 次世代の省エネ機器にお客様も興味津々

今回の「住まいるフェア」のテーマシンボル「エコロジー&エコノミーコーナー」では、LED電球や太陽光発電など、環境にやさしい製品が実演・展示され、来場者も興味津々に説明に聞き入っていました。

「LED電球」は電気を流すと光る半導体の一種で、発光ダイオードとも呼ばれています。1円で約11時間使用可能で寿命は40,000時間、一日10時間使用で10年以上交換不要なので電球交換作業の困難な階段や廊下などの高い所や狭い所にもおすすめです。さらに、水銀を一切含まず、消費電力が少ないためCO<sub>2</sub>の排出量も少ない、まさに理想の電球です。

「太陽光発電」は太陽の光で発電した電気を家庭で使える電気に変換するため、使用電力を減らすことができ、CO<sub>2</sub>排気量削減につながると注目を集めています。また、国や市町の補助制度があり、余った電力を電力会社に売ることもできるとあって、太陽光発電を設置する家庭が増えてきています。

家庭用として一般的な3.84kwシステムを設置すると、年間約4,112kwの発電量があると予測されていますが、日本の電力の平均CO<sub>2</sub>発生量を基準にすると、約1,293kgのCO<sub>2</sub>が削減できる計算になります。太陽光発電でつくった電気を給湯や空調などにフル活用できるオール電化なら、夜間割引などお得な料金プランが利用でき、光熱費をさらに抑えることが可能。電力モニターで消費電力を毎日チェックすることもでき、節電意識も高まるのではないのでしょうか。



フェア会場を回り、改めて住宅設備機器の省エネ化、エコロジー化が進んでいることを体感しました。CO<sub>2</sub>削減は、地球上の全人類に課せられた重要な課題です。人にも環境にもやさしい家づくりの絶好のチャンスであるリフォームやリモデルの際には、率先してエコロジー商品をお勧めするよう、私たちもお客様に働きかけていきたいと思えます。

### ■ 住まいるフェスタ2009ご来場ありがとうございました。

去る9月5日・6日「住まいるフェスタ2009」は無事開催することができ、感謝しております。また、両日合わせて、304組669名の来場がありました。来年の9月上旬に開催を予定しております。また、次回もお楽しみに。

